

# 顎顔面補綴外来

顎顔面補綴とは、生れ付きの疾患、交通事故などの外傷や、腫瘍を取り除く手術などによって失われた口や顔またその周辺の部分の形を人工物で修復することを担当する歯科の治療分野の一つです。

口の中、あるいはその周辺の無くなった部分を修復することによって、食事、発音や見た目などの機能を回復し、患者様が快適な社会生活を送れることを目的とします。



## 顎義歯(がくぎし)



通常の歯のない上顎



手術後の上顎



手術後の上顎に入れる顎義歯(がくぎし)



上の写真で示したものは、上顎の手術の後に用いられる顎顔面補綴の装置の一例で、顎義歯(がくぎし)というものです。手術によって失った歯茎や骨の部分を補うために通常の義歯よりも大きくなります。



## エピテーゼ



鋳型の中のシリコン製エピテーゼ



エピテーゼ(仕上げ後)



エピテーゼ用の義眼(樹脂製)



身体の表面に取り付ける人工の医療用具をエピテーゼと呼びます。シリコンで作製します。顎顔面補綴外来では顔面や耳の部分のエピテーゼの作製を担当しております。

小指のエピテーゼ。見本用です。指は口からはなれた部位であり、当外来では実際には作りません。

